

学校通信

学校教育目標：「社会人基礎力の育成」

令和2年5月18日 第5号

四万十町立大正中学校



1年生道徳の授業より

題名「人のフリみて」 内容項目：思いやり・感謝

旅先の北海道で、筆者は高校生たちがバスの運転手さんに「ありがとうございました。」と声をかけて降りる姿に感心する。わが身を振り返り、「ありがとう」を言葉で伝えられていないことに気が付き、日常の行動を省みる。日々の助けや支えを当たり前として受け流していることや、仕事だからサービスを受けて当然と思っていること。日頃言いそびれている「ありがとう」に気づき、素直に反省する筆者の姿を通して、感謝の持つ力について考えました。

ありがとうメッセージを送ろう！！



○いつもしゃべり相手になってくれてありがとう。

このクラスでぼくとしゃべっているときは多分トップです。

○いつも班長としてみんなを引っ張って行ってくれてありがとう。

係りの仕事も忘れずしっかりしてくれてありがとう。

○掃除の時、ぼくが1人でやっていたら一緒にやってくれてありがとう。

○わからないことがあったらいつもすぐに教えてくれてありがとう。

たくさん意見を出してくれてありがとう。

○私がしていた配りものを手伝ってくれてありがとう。

○右腕が痛いときに心配してくれてありがとう。

○班一番のしっかり者なので毎回助けられています。ありがとう。

○困ったことがあったときはいつも助けてくれてありがとう。

○教室にノートを忘れていた時、何も言っていないのに持ってきてくれてありがとう。

○休み時間に遊んでくれたり、しゃべってくれたりしてありがとう。

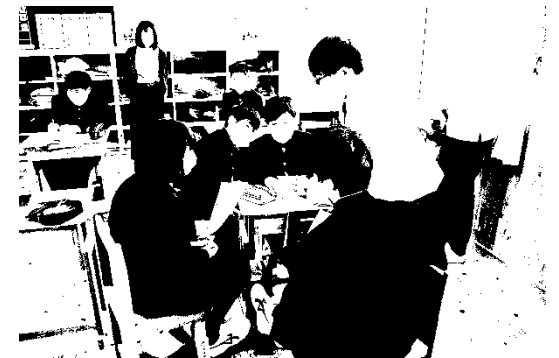
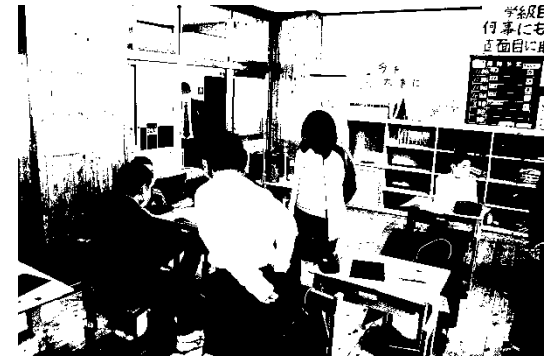
○今日の朝ぼくのボールを受けてくれてありがとう。

また次も受けてください！

○今日の授業、真剣に考えて受けてくれてありがとう。

普段の生活を振り返って、私たちは「ありがとう」の一言を添えているのでしょうか。私自身、この話を聞いて多々反省することがあります。日常にあふれている当たり前に対して、どれだけ感謝をしているでしょう。また、感謝をしても「ありがとう」という言葉や感謝に対する行動をどれだけでできているでしょう。まずは意識して行動に移すことが大切なのですね。そして、それが意識していなくても自然にできるようになると、豊かな人間関係を築くことがきっと出来るのでしょうか。

あっ、そういえば、グラウンドに新しく土を入れて頂きました。土を購入して下さった教育委員会の皆さん、土を運んでくださったトラックの運転手さん、そして、グラウンド整備を自ら手伝ってくださった、教職員や卒業生の皆さんありがとうございました。おかげさまで綺麗なグラウンドに生まれ変わりました。感謝いたします。(川村拓也)



面談週間が始まります

5月27日(水)～6月1日(月)の期間に学年単位で学級の先生と生徒の皆さんとで個人面談を行います。5月21日(木)に学校生活アンケートとQ-Uテスト(生徒たちの学校生活における満足度と意欲、さらに学級集団の状態を調べる質問紙です。)を行った後、その資料を基に面談を行います。学校生活で困っていることや将来について生徒の皆さんと話を進めていきますので、面談前にご家族でも相談内容を話しておいて頂ければ、生徒の皆さんにとって有意義な面談となります。私たち教職員は生徒の皆さんの悩みや相談を全力でうけとめ、解決できるようにしていきます。ぜひ、ささいな事でもかまいませんので、遠慮なく相談してください。